

「特別支援教育研修資料集（小学校版）」を活用した校内研修会の進め方モデルプラン

総合教育センター
特別支援教育担当

対象：小学校教員
形態：校内研修会
講師：特別支援教育コーディネーター（※以下 Co）
所要時間：約 120 分間

1 「特別支援教育研修資料集（小学校版）」を活用した校内研修会モデルプランの概要

特別支援教育研修資料集（小学校版）は、特別支援教育の理解を促すための「映像編」と、具体的推進に活用できる資料を収めた「資料編」で構成されています。「映像編」は、通常の学級に在籍している特別な支援を必要とする児童の典型的な事例を設定し、その児童への支援の流れが具体的に理解できるようにしています。内容は以下の通りです。

「映像編」を視聴した後に、「資料編」の中の「児童支援方法策定ソフトさんじゅうまる」を、教員それぞれがかかわっている児童を想定しながら実際に使用してみます。「さんじゅうまる」を使用することにより、児童の行動から、その背景や背景を考える視点を理解します。

次に、特別支援教育を推進していくための現状や課題点について、グループ毎にワークショップ形式で整理することにより、校内での共通理解を図ります。

なお、「さんじゅうまる」から導き出した「想定される支援方法」は、あくまでも「想定」ですので、後日、学級の様子や場面等を鑑みながら、関係者による事例検討会等により、さらに具体的な支援方法を考えていきます。

2 「特別支援教育研修資料集（小学校版）」を活用した校内研修会モデルプランの内容

(1) ねらい

- ・特別支援教育の基本的な考え方について理解する。
- ・児童の行動から、その背景を考えることの大切さや背景を考える視点を理解する。
- ・校内における特別支援教育推進のための方策を共通理解し、今後の見通しをもつ。

(2) 準備物

「特別支援教育研修資料集（小学校版）」、「資料編」スライド配布資料※人数分を印刷、
「児童支援方法策定ソフト さんじゅうまる」使用方法※岩手教育情報交流ネットからダウンロード、
講師用PC、プロジェクター、スクリーン、教職員用PC、プリンター
模造紙(グループ数分)、マジックセット、付箋紙(ピンク、イエロー、ブルー等3色)

※コンピュータールームを使用する際は、各PCに「さんじゅうまる」をダウンロードしておき、教職員が使用できる環境を整えておくことが考えられます。

※コンピュータールームを使用せずに、個人のPCを使用する場合は、それぞれのPCにあらかじめ「さんじゅうまる」をダウンロードしておき、教職員が使用できる環境を整えておくことが考えられます。

(3) 展開

主な内容	時間	内 容	備考(準備物)
<p>基本的な考え方の理解 特別支援教育の</p>	<p>5 30</p>	<p>1 オリエンテーション ・Co が、全体の流れを説明する。 ・Co が、グループ分けを発表する。</p> <p>2 「映像編」の視聴 ・事前配布してある「資料編」のスライド資料を参考にしながら視聴する。</p>	<p>・各校の実態に応じたグループ分けを行う。 ※まとめ役が必要</p> <p>・「映像編」の画像がスムーズに映るか、事前確認が必要。PCによっては、コマ送りのような画像になるので注意が必要。</p>
<p>行動背景の理解 「さんじゅうまる」を使用した</p>	<p>15 20</p>	<p>3 「さんじゅうまる」の概要理解 ・Co が、「さんじゅうまる」使用方法を用いながら、「さんじゅうまる」のねらいや操作方法を説明する。</p> <p>4 「さんじゅうまる」の使用 ・各自のPCで、教職員がそれぞれかかわっている児童を想定しながら使用する。 ・焦点化シートを活用することが望ましいが、研修会という限られた時間を考えると、焦点化シートの「優先項目」のみを記入し、データベースシートで行動の背景等を探っていくことを中心とする。進み方によるが、記録シートに反映した内容をプリントアウトすることも可能である。</p>	<p>・エクセル2003とエクセル2007では、若干操作方法が異なることに注意する。</p> <p>・行動の背景を考慮することの大切さや、背景を考慮する視点を理解できるように声かけをする。</p> <p>・具体的な支援方法を検討する際の参考が、「想定される支援方法」であることを説明する。</p>
<p>校内特別支援教育推進への見直し</p>	<p>5 25 15 5</p>	<p>5 ワークショップ形式※別添資料参照 による、校内における特別支援教育推進についての現状と課題の整理の仕方についての理解 ・グループ毎に分かれてからCo が、説明する。</p> <p>6 校内における特別支援教育推進についての現状と課題の整理</p> <p>7 校内における特別支援教育推進についての現状と課題の共有化と、今後の見直し ・各グループのまとめ役が、話し合われた内容を発表する。 ・Co が、それぞれの発表内容を整理し、今後の推進への見直しについてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※ 5・6・7の具体的な進め方については、別添資料に例示してあるので、参照のこと</p> </div> <p>8 まとめ ・今回の研修についての感想や今後の取組を発表する。 ・今後の研修についての要望を確認する。</p>	<p>・各グループのまとめ役に、ワークショップ形式の進め方を事前に説明しておく。</p> <p>・話し合いが、停滞したり、改善への方策の見通しが立たなかったりする場合は、Co や学校長等が助言する。</p> <p>・話し合いに使った模造紙は、発表が終わったら会場に掲示する。</p> <p>・Co は、今後の推進について、できることと、検討すべきこと(期限を明確に)を分けてまとめる。</p>